



「MONTOPARK」とは“門と公園”の意とのこと

「転倒」は、実はあしゆびが浮いている「浮き指し（フキサシ）」ことに原因

2020年6月5日（金）

満を持して、遂にオープン！ MyFootStation 泉大津店

2019年末から今春にかけて世界を震撼させたコロナウイルスパンデミックにより、3月20日（金・祝）開店の延期決定を余儀なくされてから78日、日本国政府による緊急事態宣言の完全解除を受け、ついに念願の「MyFootStation 泉大津店」オープンが決定いたしました。

子どもの約8割が足部に何らかの異常を抱え、高齢者にとって要介護の原因となる



令和2年5月【第26号】



【大阪本社】
〒556-0004
大阪市浪速区日本橋西 1-3-19
南海日本橋ビル 1F
TEL: 06-4708-4877 / FAX: 06-4708-4879



があるとも言われている現代、大阪府泉大津市（市長：南出賢一氏）では、日常生活や遊びの中で足指を鍛える「あしゆび運動」を推奨されています。

弊社はこの理念に強く賛同し、「縁あって同市の推進する「あしゆびプロジェクト」に、南海電気鉄道株式会社様と共に、官民連携事業として参画させて頂くこととなり、準備を進めて参りました。

南海泉大津駅〜松ノ浜駅間の高架下に新設された広場「MONTOPARK（もんとぱーく）」と全5棟のユニット建築物からなる施設エリア「ROZU ROOF（おづるーふ）」のうち、「ROZU ROOF」の3棟がその活動拠点となります。

非接触非対面による足の三次元計測や健康アドバイス、オーダーインソールの販売など、足からの健康、100歳までピンピン歩ける社会を目指し、市民の皆様への憩いの場となるべく努めて参りますので、是非お気軽にお運びください。

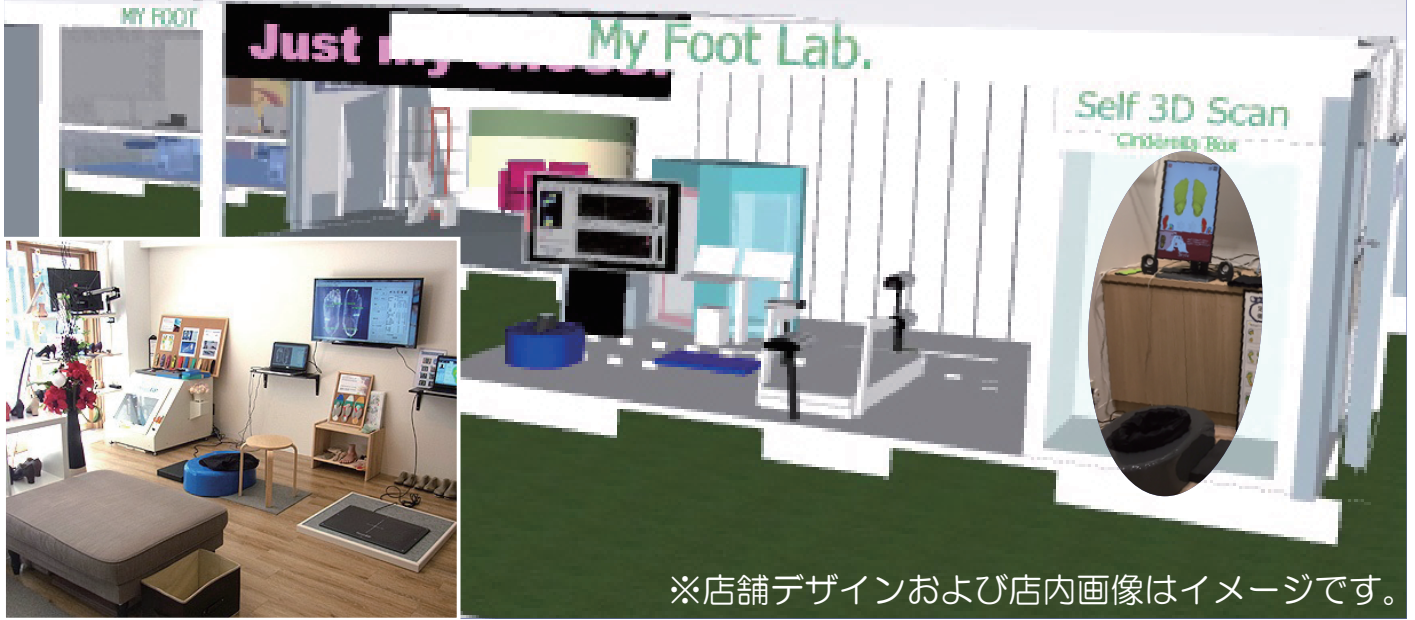
堂々オープン！
2020年6月5日（金）
11時～

足と靴のフィッティング専門店 MyFoot station 泉大津



- ・非接触非対面（セルフ操作）による足の3D自動計測
- ・足の健康アドバイス
- ・オーダーインソールの製作と販売

営業時間：11～18時（木曜定休）
お問合せ TEL：072-592-9227



※店舗デザインおよび店内画像はイメージです。

2020年実施 「ものづくり補助金」のご案内

「ものづくり補助金」とは、中小企業が経営革新のための設備投資等に使える経費の1/2～3/4を最大1,000万円まで補助する事業です（※3/4の補助率は3次のみとの予測）。

3次締切・・・公募要領が発表

《 3次締め切りの場合のスケジュール 》

- ① 事前準備・・・「GビズID」の取得
- ② 5/22(金)12時から・・・公募開始
- ③ 6/10(水)17時～8/3(月)17時・・・申請受付
- ④ 9月末目途・・・採択結果
- ⑤ ③の後1ヶ月程度・・・交付申請・交付決定
- ⑥ ④の後10ヶ月以内・・・補助事業期間
・事業実施 ・中間検査 ・実績報告
- ⑦ ⑤の後1ヶ月程度・・・確定検査（交付額の確定）
- ⑧ ⑤の後1ヶ月程度・・・補助金の請求
- ⑨ ⑤の後1ヶ月程度・・・補助金の支払い
- ⑩ 毎年4月に依頼・・・知的財産権等報告、事業化状況報告

《 締切の年間スケジュール 》

- ・1次締切 令和2年3月31日（済）
 - ・2次締切 令和2年5月20日（済）
 - ・3次締切 令和2年8月3日 現在
 - ・4次締切 令和2年11月頃
 - ・5次締切 令和3年2月頃
- ◎ものづくり補助事業公式HP = <http://portal.monodukuri-hojo.jp/>

非接触非対面型

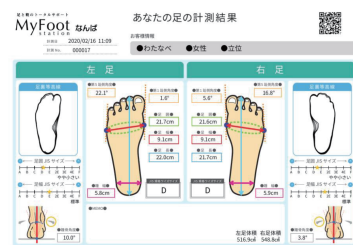
MFS 泉大津店導入機

「ReaLFOOT PRO」のご紹介

REaLFOOT PRO



①三次元足型計測機で計測



②計測結果を確認



③データからオーダーインソールへ

6月5日（金）、満を持してのオープンを迎えることとなりました「MyFoot Station」泉大津店（MFS 泉大津店）と同じく、弊社最新の3

OT PRO」を導入しています。同機は、片足（足首から下）を約15秒で三次元立体計測し、足の形をそのまま再現いたします（測定標準偏差±0.5ミリ）。計測結果はプリントアウトもしくはは自動作成されたQRコードをスマー

また、このデータを基に、世界でたったひとつの自分だけのフルオーダーインソールをご注文頂くことも可能です。

D足型計測機「ReaLFOOT PRO」

来ます（※FOOTBAN K契約および別途WiFiの契約が必要）。

トフォンなどで読み込むことにより、携帯端末にいつでもご自身の足の情報を見ることが出



奇しくもコロナ禍がデジタルシフトを加速させ、国連が提唱するSDGs等、益々持続可能な社会が望まれる中、デジタルシフトへの流れを先見した本ではなかったかと自負しております。このような時代の流れの中で、3年前に上梓した共著もすでに3刷を数え、読者の皆様には改めて感謝申し上げます。

代表 荒山元秀

【共著の出版から3年を経て】
弊社が足と健康に係る事業に携わって15年になりますが、創業当時のシューフィッターが活躍していた時代、リーマン・ショックにより義肢装具業界等医療分野へ軸足をシフトした経営判断、新潟医療福祉大学大学院修士課程にて、阿部教授のもと、靴医学から解剖学、引いてはインソールの設計、そして一番の研究テーマであった足の3D計測の仕組み作りを学んだこと、ご縁あって介護シューズメーカーとの協業により、世界初の3D足型計測機とシューズマッチングシステムを開発し、全国100ヶ所以上の介護施設を巡ったこと、1300名もの働く女性の足型計測を行い、既成の木型にフィットする人は実は2割にも満たないことを知り、大量生産・大量消費という効率化の成せる業を痛感したことなど、様々な記憶がよみがえって参ります。